

“部下目線で考える”効果的OJTの進め方セミナー

10月28日(火)／産業貿易センタービル 講師:㈱日本能率協会コンサルティング 河村 泉 氏

<講義概要>

●OJTとは「仕事の中で、仕事に就きながら、仕事に即して教育すること」で、仕事に直結した教育ができる反面、教育よりも実際の仕事優先になりがちとなり、この調和を取るのが難しい。

●OJTの目標を設定する際には、出来るだけ具体的に設定し、かつ、努力すれば達成できるやや高め目標とすることがポイント。また、個々人の能力に応じて勾配を付けた設定をすると良い。

●OJTは実践的な教育法であるが、指導者や教育時間の制約等によって、指導方法や理解度にバラツキが出やすい欠点がある。

●そうした欠点を補うことにより、OJTをより効果的な教育とすることができる。

●手順としては、OJT指導案を作成する・・・指導目的、指導項目、指導の要点、使用教材を明確にし、また、項目毎に理解レベルを評価する理解度チェックシートを作成する。

●インストラクターの養成はとても重要。指導方法にバラツキが出ないように、予め教育すべきポイントを共有し、レベル合わせをしておく。

●受講者のレベルを確認することも重要。初心者に対して、いきなり難しいレベルのOJTを行っても大きな効果は期待できない。

●OJTを進めながら出てきた課題は、指導案や指導方法、理解度チェックシートなどの改訂に反映すること。

受講者は、指導案を作成するなどの演習も行うなかで、日頃の悩みなども意見交換を行った。受講者からは、「OJTの重要性やどのように勧めれば効果的か理解できた」、「指導案をしっかりと作り込むことで、業務改善のヒントにもなる」、「自社でも指導案を作成して活用してみたい」などの感想があった。

